|  |  |
| --- | --- |
| 単元名 | can できること　“She can run fast. He can jump high.” |
| 言語材料 | 表現：I can / can’t ~. Yes, I can. No I can’t. Can you ～?単語：play, swim, skate, ski, do, ride a unicycle, cook, run fast, jump high, sing well |
| 対象学年 | 小学５年生 |
| ねらい | 自分のできること、できないことを書き写し、友達に伝えることができる。友達にできることできないことをCan you~？を使って聞くことができる。She/ Heの区別をすることができる。 |
| 使用教材 | 絵カード、インタビューシート |
| 時間 | 学習活動 | 児童の活動 | 教師の活動 | 留意点 |
| ２分 | １．挨拶 | 元気よく挨拶する。 | 生徒と元気よく挨拶する。 |  |
| ５分 | ２．ポインティングゲーム　（復習） | 絵カードを使い、４人１グループでポインティングゲームをする。教師が読んだ動詞のカードを指さす。指をさすときに、教師が言った英文を繰り返して言う。 | 4人グループを作り、絵カードを配る。ルール説明をし、ゲームを始める。 | ・１時間目に行ったポインティングゲームとは違い、教師が言ったことを繰り返すこともきちんと伝える。・Canの時は人差し指でcan’tの時は小指で指さす。 |
| ５分 | 3. He and Sheポインティングゲーム　 | He/ Sheを聞き分けながら、教師が読んだ絵カードを指さす。Ｈe can run fast. | アクティビティのデモを見せる。机間指導 |  |
| 15分 | ４．インタビューゲーム | ・名前カードのクラスメイトの情報を持っていなかったら、このインタビューゲーム中に聞く。・インタビューシートに黒板のカードから自分のできること、できないことを選び、３文書き写す。・自分のできること、できないことを相手に伝える。・相手がそれをできるのか、Can you ~?で質問し、自分と同じだったら〇、自分とは違ったら✕でワークシートに記入する。・相手の名前、できること、できないことを記入する。・自分とできること、できない事が同じ人をたくさん見つけよう！ | ・児童の名前が書いてあるカードをグループごとに配る。・３時間目にもらったカードの名前のクラスメイトについて説明することを伝える。・インタビューシートを配り、児童に自分ができることできない事を３文書かせる。・アクティビティのデモを見せ、インタビューゲームを始める。 | ・正しく書けていない生徒には、つづりなどを教える。・できることの後に、できない事を書くときは、同じ種類の文で書く。 |
| 10分 | ５．Who is he ? Who is she  | 教師にワークシートを渡す。・She/ Heやできることをもとに、誰のことを話しているのか、推測し、答える。 | ・インタビューシートをもとに、クイズを出す。・She can / He can を使って、クイズをだす。 | ・インタビューシートを回収するときに、児童の名前がきちんと書かれているか確認する。 |
| ５分 | ６．振り返り | 振り返りシートで自己評価をする。 | 振り返りシートを配る。 |  |
| ２分 | ７．終わりの挨拶 | 元気よく挨拶をする。 | 生徒と元気よく挨拶をする。 |  |